



DealBook[®] 360

クイックスタートガイド

バージョン 1.0

gftforex.co.jp/

0120-933-438

ライブチャットは年中無休でご利用いただけます。

電話番号

目次

DealBook® 360 クイックスタートガイドをご覧ください、ありがとうございます。.....	3
DealBook® 360 のワークスペースを表示する.....	4
ダイレクト(成行)注文の発注.....	5
注文ウィンドウからの発注.....	6
チャートの表示.....	7
チャートツールバーを利用する.....	8
チャートの描画.....	10
チャート内にインディケーターを表示する.....	11
チャートからの取引.....	13
報告書ウィンドウの表示.....	14
より詳しくお知りになりたい方は.....	17

DealBook® 360 クイックスタートガイドをご覧ください、ありがとうございます。

本ガイドでは、DealBook®360 でよく利用される機能とツールの使用法に関する説明を記載しています。初心者の方にもわかりやすいように、DealBook® 360 の操作方法と設定について、一つ一つ順を追ってご説明しました。また、お取引経験者の方のために DealBook® 360 のツールの使用法が素早く参照できるよう、目次もご用意いたしました。

DealBook® 360 をご利用になる前に

取引を行うマーケットについて基本的な理解をしておきましょう。最近取引を始められた方向けに GFT では、マーケットを理解するための初心者ガイドや、ご自身の取引目標を達成するためのヒントとなる様々な無料情報をご提供しています。詳しくは GFT のウェブサイトをご覧ください。

本ガイドを上手に利用する方法

本ガイドでは DealBook® 360 についての重要ポイントをわかりやすくするために次のようなマークを用いています。



DealBook® 360 が持つツールや機能に関する情報の説明。このマークのあるところでは、情報と手順に関する全般的な内容を提供します。



ヒントやショートカットなど、DealBook® 360 で注文を出したり、取引状況をチェックするのに役立つ情報を提供します。



特定の操作・処理に関する特記すべき重要事項についての注意点です。

DealBook® 360 のワークスペースを表示する

DealBook® 360 のワークスペースは、取引に役立つチャート、ウィンドウ、その他のツールを表示したり配置したりできる領域です。

The screenshot displays the DealBook 360 interface with several key components labeled A through F:

- A:** Top navigation bar with menu items like '注文', '現在のポジション', '注文状況', '報告書', '全決済', 'レイアウト保存'.
- B:** Status bar at the top right showing connection status and server information.
- C:** Account information section showing '評価損益 (JPY): 40,400.00', '必要保証金 (JPY): 1,533,590.00', '受入保証金 (JPY): 12,671,363.27', '使用可能保証金 (JPY): 11,207,873.35', and '保証金率 % (357507): 830.83%'.
- D:** A central menu bar with options like 'メインページ', 'リンクチャート', 'ニュース・チャート', 'チャート', '新規ワークスペース', 'CFD', 'CFDリンクチャート'.
- E:** A table titled 'ディーリングレート 1 (フィルター)' listing various currency pairs (e.g., EUR/USD, GBP/USD, USD/JPY) with columns for bid/ask prices, spreads, and other metrics.
- F:** Three chart windows on the right side, each displaying a candlestick price chart for different currency pairs (USD/JPY, EUR/USD, USD/JPY) with various timeframes and indicators.



ご利用中の DealBook® 360 のバージョンがこれと違った画面の場合、**ファイル (File)メニューのレイアウト (Layouts)**をクリックしてください。【レイアウト初心者】の横にチェックマークがついていることを確認してください。【レイアウト初心者】がリストにない場合には、GFT にご連絡ください。

- クイックアクセスツールバーには、DealBook® 360 でもっともよく使われるツールが含まれています。その中に 7 個までのメニューボタンを表示できます。
- 接続インジケータは、DealBook® 360 サーバーへのインターネット接続の状態を示します。緑色のバーは、十分な接続ができていることを示します。DealBook® 360 がオフラインの場合はバーが表示されません。
- ステータスバーは、口座情報をリアルタイムに表示します。
- ワークスペースリストは、これを利用することで複数のワークスペースに素早くアクセスすることが可能になります。ワークスペースは既存のものを利用することも、新しく作ることもできます。
- ディーリングレートは、取引銘柄のリアルタイムのレート(価格)と、その日の最高値、最安値といった詳細な情報を提供します。ディーリングレート内の通貨ペアは、pip の後ろに小さく小数点が付加されます。これは端数 pip と呼ばれ、pip の 10 分の 1 を表します。
- チャートウィンドウは、取引銘柄の価格をリアルタイムでグラフに描画し、特定期間にわたるマーケットの動きを表示します。【レイアウト初心者】画面において、ワークスペースの【リンクチャート】が選択されている場合、表示されているチャートはリンクチャートです。直接ディーリングレートにつながっており、表示したい取引銘柄をディーリングレート欄からクリックすればチャートが更新されます。

- G. 発注した注文が約定した場合はポジションが形成され、【現在のポジション】に表示されます。ここでは、取得価格、必要保証金、利益/損失などポジションについての詳細が表示されます。



注文とポジションに関して。取引はまず注文を発注することから始まります。次にマーケット価格が発注した注文の執行条件を満たすと、ポジションが形成されます。注文は変更や取り消しができますが、一度形成されたポジションは取り消すことができず、決済しかできません。

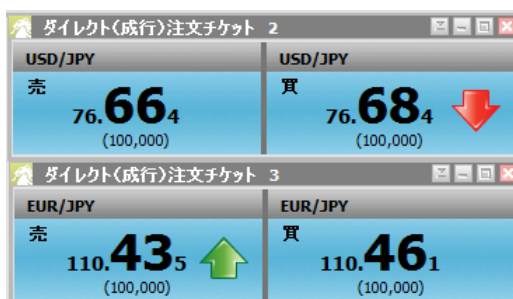


【現在のポジション】では、お客様の口座がポジションベース口座かネットベース口座かによって取引の表示方法が異なります。ポジションベースの口座の場合、【現在のポジション】は同じ商品内の各ポジションを別個に表示します。ネットベースの口座では、同一通貨ペア内のポジションすべてが合算され平均価格で表示されます。

- H. 逆指値注文または指値注文を出した場合、注文は発注中の注文となり、【注文状況】に表示されます。ここでは逆指値や指値についての詳細な情報、種類やサイズ、その他の情報が表示されます。その後、注文が執行され約定すると、注文はポジションとなり、【現在のポジション】に表示されます。

ダイレクト(成行)注文の発注

ダイレクト(成行)注文は、ダイレクト(成行)注文チケットを用いて発注します。



注文メニューをクリックしダイレクト成行注文を選択することで、チケットを開くことができます。

注文するには、チケット横の売または買をクリックします。発注前に商品やロットサイズ、その他の条件を変更するには設定ウィンドウを開きます。

設定

USD/JPY - US Dollar/Japanese Yen 口座番号: 857507 (JPY)

ロット数: 1 取引単位: 100,000 ワンクリック注文

クイックロット数: 1, 5, 10, 25, 50, 100, P

x 10, x 100, x 1,000, x 10,000, x 100,000, x 1,000,000

有効期限: 期限なし

ディスプレイオプション: 価格全桁表示

ディスプレイオプション: スリッページ

スリッページ pips: 2.0

*1pip = 0.01


OK キャンセル



マーケットの変動率が高くなっている場合、価格が短時間で上下する場合があります。ダイレクト(成行)注文を出す場合、GFTは注文受付時の価格で約定可能な場合のみ、その注文を執行します。価格が変動(スリッページが発生)すると、新しい価格が提示され(リクオート)、それを受け入れるかまたは注文を取り消しの判断を要求します。また、スリッページチェックボックスにチェックを入れて、スリッページ pips に値を設定した場合は、マーケット価格が指定したスリッページ幅の範囲内である場合に限り、そのダイレクト(成行)注文が執行されます。この場合、マーケット価格がスリッページ pips からさらに乖離した場合にリクオートが行われます。

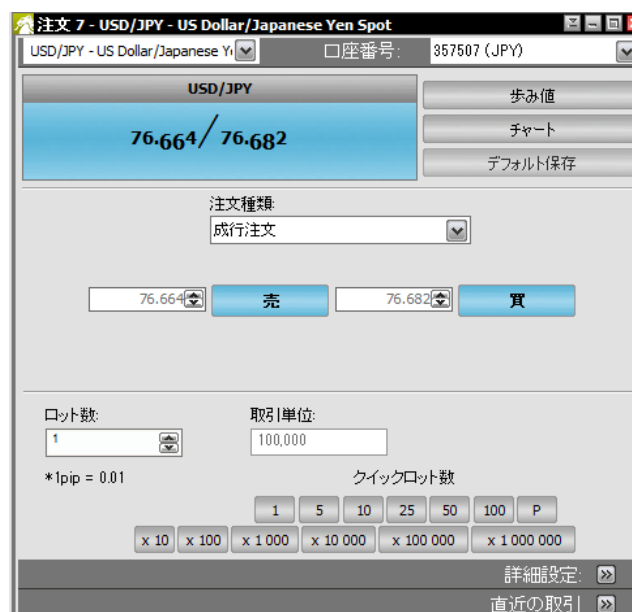
設定内容を任意に変更した場合、ダイレクト(成行)注文チケットは注文時にそれらの設定を使用します。チケットを一旦クローズした後に、再度チケットを開き直した場合、設定値は初期値へ戻ります。必要な場合はその都度変更してください。(変更した値を初期値として保存する方法もあります。)

ダイレクト(成行)注文の設定内容を任意に変更して注文を出す

1. 注文メニューからダイレクト成行注文をクリックします。
2. チケット上で右クリックし、設定...をクリックします。
3. クリック  して、ドロップダウンメニューから取引銘柄を選択します。
4. 必要な場合は、口座番号から利用口座を選びます。
5. 必要な場合は、ワンクリック注文チェックボックスをクリックします。
6. 注文サイズを設定するために、ロット数を入力します。
7. 必要な場合は、スリッページにチェックを入れ、pip 数を設定します。
8. OK をクリックして設定ウィンドウを閉じます。
9. チケット横の売または買をクリックします。
10. ワンクリック注文を選択していない場合は確認画面が出ますので、はいをクリックします。

注文ウィンドウからの発注

大半の注文は注文ウィンドウから発注します。



このウィンドウは DealBook® 360 ではいくつかの場所から開くことができます。

- 注文メニューから**新規注文**を選択。
- クイックアクセスツールバーにある**注文**をクリック。
- デーリングレート内で右クリックしドロップダウンメニューから**注文**を選択。

注文ウィンドウ内で任意に条件を指定できます。より詳細な設定を行うには、**詳細設定**をクリックします。☒

- **有効期間**は、注文の有効期限を指定します。**期限なし**が初期設定としてチェックされています。これは取り消すまで注文が有効であるということです。**期限指定**を選択し、エリアを指定した場合は指定したタイムエリアがクローズした時に注文が取り消されます。

- 取引銘柄の価格を全桁表示するには、**価格全桁表示**をチェックします。これをチェックしていないと、価格の下3桁だけが表示されます。
- **実行**をクリックした後自動的にウィンドウを閉じるようにするには、**実行後閉じる**をチェックします。
- 確認画面抜きで取引を実行するには、**ワンクリック注文**をチェックします。

注文ウィンドウで成行注文を出す

1. クイックアクセスツールバーで**注文**をクリックします。
2. 希望の取引銘柄が選択されていることを確認します。選択されていない場合は、☒をクリックして選択してください。
3. 必要な場合は、**口座番号**から口座を選びます。
4. **注文種類**をクリックし、**成行注文**を選びます。
5. 注文サイズを設定するために、**ロット数**を入力します。
6. **売** または **買** をクリックします。
7. **ワンクリック注文**を選択していなければ、**はい**をクリックします。



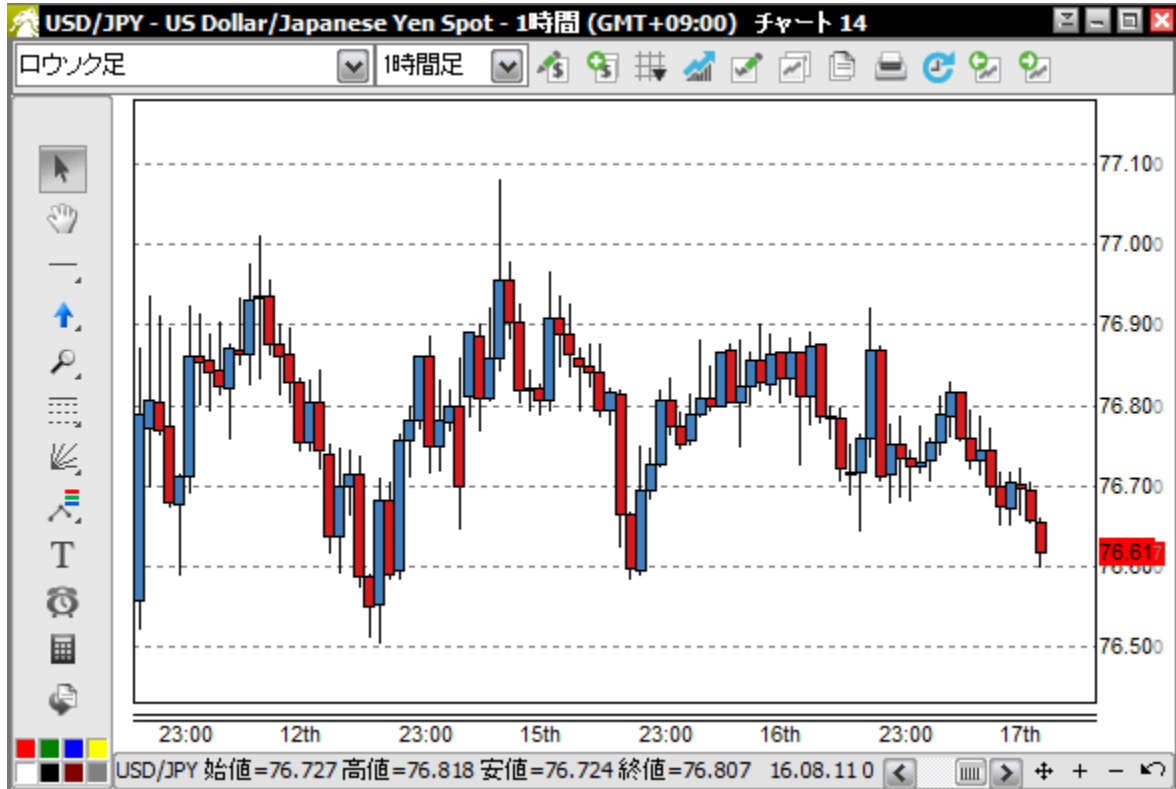
ポジションベース口座の場合、DealBook® 360 は先入れ先出し(FIFO)法に従い処理を行います。同一銘柄で複数のポジションを有している状態で、指値や逆指値が発注されている場合、DealBook® 360 では古いポジションから順番に決済されていきます。(決済ポジションの指定はできません。)

チャートの表示

次のいずれかの方法を用いてチャートウィンドウを開くことができます。

- **表示メニュー**をクリックし、**チャート**を選択、銘柄選択ウィンドウが表示されたら、そのリストから表示する取引銘柄を選択します。
- デーリングレートにおいて、取引銘柄の行を右クリックし、**チャート**または**リンクチャート**を選択します。

- 注文ウィンドウにおいて、**チャート**をクリックします。
- 現在のポジションウィンドウから、希望する取引銘柄の行で右クリックし、**チャート**をクリックします。
- ダイレクト(成行)注文チケット上で、チケットを右クリックし、**チャートの表示**を選択



- ★ チャートウィンドウが表示されたら、をクリックしてワークスペース全体に収まるようウィンドウを最大化できます。

チャートツールバーを利用する

DealBook® 360 で初めてチャートウィンドウを開いた場合、チャートの上部と左側にツールバーが表示されているはずですが、上部のツールバーは次のようなツールです。

- ★ チャートウィンドウにツールバーが表示されていない場合には、チャート内で右クリックし、**チャートツールバーの分離**にあるチェックをはずします。左のツールバーが表示されていない場合、チャート内で右クリックし、**左ツールバー**を選択します。

ロウソク足 現在選択されているチャートタイプを表示。これを用いて 8 種のチャートタイプの一覧を表示し、どれかを選ぶことができます。

1時間足 現在選択されている時間枠を表示する。これを用いて時間枠の一覧を表示し、どれかを選ぶことができます。



通貨ペア切替でチャートに表示される取引銘柄を変更します。



通貨ペア追加は、同じチャート内で2つの異なる取引銘柄の値動きを表示します。Foresight-AIを追加契約している場合、それをチャートに追加して利用することもできます。



枠の種類は、チャートの上にグリッドを表示します。さらに水平線、垂直線、両方の線を表示させたり、何も表示しない、から選択することができます。



インディケーターの設定は、チャートインディケーターウィンドウを開き、チャート内に表示されるインディケーターを選択するのに使用できます。



チャートプロパティは、チャートプロパティウィンドウを表示します。これを用いて、背景色、アラーム設定、チャートタイププロパティ、その他の設定を調整できます。



チャートテンプレートは、チャートテンプレートウィンドウを開きます。これを用いてチャート設定をテンプレートとして保存し、後で新しいチャートを開く時にロードすることができます。



ヒストリカルチャートは、任意の開始日と終了日を指定して過去のヒストリカルチャートを生成します。



印刷は、表示されているチャートを印刷するプリントウィンドウを開きます。



インディケーターヒット通知は、価格が特定の条件を満たした場合に通知するインディケーターヒット通知を設定します。



前のチャート/次のチャートは、表示されているチャート相互間を移動します。



は、**時間枠**ドロップダウンメニューでティックが選択されている時は使えません

左のツールバーは次のようなツールです。



選択は、ライン、リトレースメントその他の描画オブジェクトをクリックし、それらをチャートの別の位置にドラッグできるようにします。大半の場合、ツールバーにあるその他の機能を利用した後は自動的にこのツールに戻りますが、**パン**や**ズーム**ツールを用いた後は手動で戻す必要があります。



パンツールは、チャート内をクリックし、チャートを前後左右にドラッグできるようにします。



描画ツールは、チャートにトレンドラインや、分析ツールを描画します。



矢印ツールは、チャートに矢印のグラフィックを追加します。ドロップダウンメニューから、左矢印、右矢印、上矢印、下矢印を選ぶことができます。








ズームツールは、チャートをズームするためのメニューオプションを表示します。チャートサイズを上げるには**ズームイン**を選択し、**領域ズームイン**は、クリックし、ズームインしたいチャートのある部分にドラッグします。



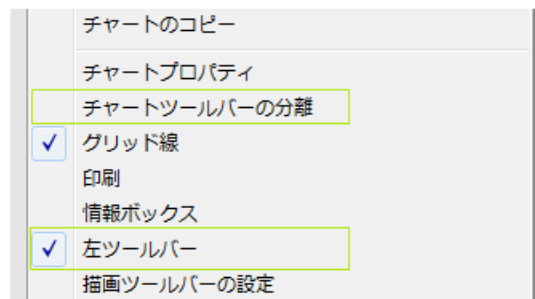
フィボナッチツールは、チャートにフィボナッチツールを追加します。




ギャンツールは、チャートにギャンツールを追加します。

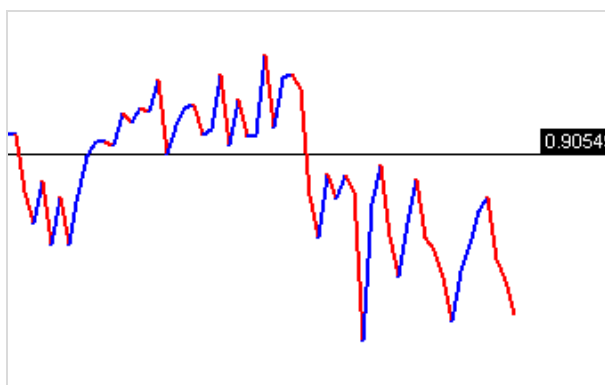
-  DiNapoli ツールは、チャートに DiNapoli ツールを追加します。
-  数値計算は、チャートの 2 点間をクリックし線を引くのに使います。DealBook® 360 は、上がり下がりの概算値を計算します。
-  エクスポートデータは、チャートデータをテキストファイルにエクスポートします。
-  ラベルツールは、チャートの好きな部分に独自のラベルを追加します。
-  ヒット通知ツールは、価格アラームを設定します。

チャートウィンドウ内で右クリックすることにより、ツールバーを表示、非表示することができます。左のツールバーがチェックされていると、左のツールバーが表示されます。チャートツールバーの分離メニューオプションをクリックすることにより、ツールバーを分離して表示させることもできます。



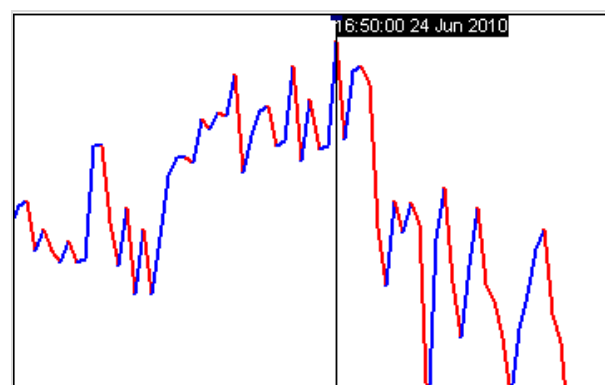
チャートの描画

ドロップダウンメニューから  をクリックし、好きなツールを選ぶことで、十数種類の描画ツールのひとつを選択できます。よく利用されるツールには次のようなものがあります。



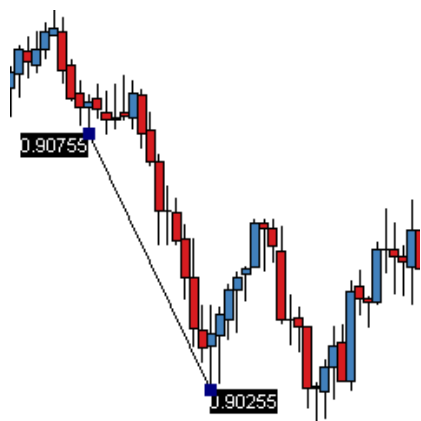
水平線

水平のサポートラインまたは抵抗線を描画します。選択した後、線を置きたいところでチャート内をクリックします。



垂直線

トレンドの始まりや、マーケットのオープン時間などに印をつけます。選択した後、線を置きたいところでチャート内をクリックします。



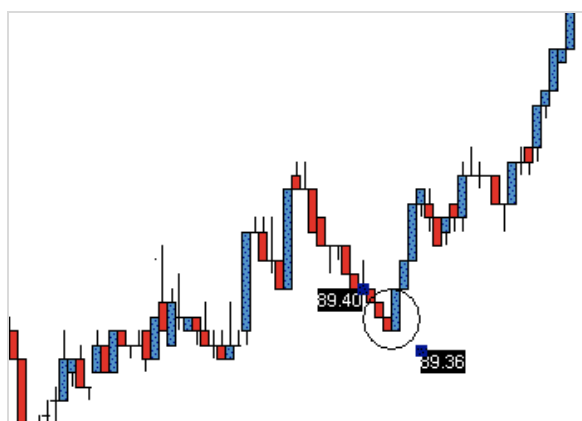
トレンドライン

価格ポイントの高い部分または低い部分を斜めに結んだ線を引きます。選択した後、カーソルをクリックしてからドラッグし、線を引きます。



平行ツール

既存のトレンド線を用いてそれに並行なトレンド線を引きます。選択した後、二重にしたい線をクリックします。その後、その線をクリックし、新しい位置にドラッグします。



円

チャート内の特定の値動き周辺に円を描きます。対象とする価格の最高価格部分でクリックし、円の大きさまでドラッグします。



ABCD ツール

チャート内に ABCD パターンを描画し、売り買いのポイント进行分析します。起点となる A を置きたい部分をクリックしてから、B 点と C 点をクリックします。そうすると D 点が、DealBook® 360 により自動的に生成され描画されます。

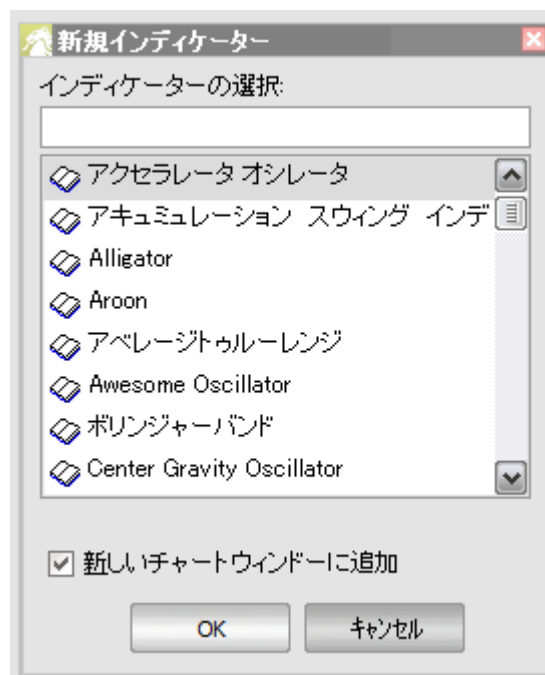
チャート内にインディケーターを表示する

テクニカルインディケーターは、マーケットの動きを予測するために多くのトレーダーが利用しています。DealBook® 360 では、チャートウィンドウに最大 100 種類のテクニカルインディケーターを選択することができます。



インディケータを選択すると、現在の値動きに沿ってチャート内にインディケータが表示されます。インディケータは、メインチャートの下に表示されるスペシャルウィンドウ内に表示させることもできます。

インディケータを追加する場合は、チャート内で右クリックするか、チャートインディケータウィンドウの追加メニューオプションを用いてチャートの下に新インディケータウィンドウとして追加できます。



チャートにインディケータを追加する

1. チャート内で右クリックし、**インディケータの追加**メニューオプションをクリックします。
2. ウィンドウ上部のテキストボックスにインディケータ名の先頭数文字を入力するか、リストをスクロールさせインディケータを選んでクリックします。
3. 必要に応じて、**新しいチャートウィンドーに追加**にあるチェックボックスにチェックを入れるか、チェックをはずします。
4. OK をクリックします。
5. 入力タブ内の設定を調整します。
6. 罫線タブをクリックし、設定を変更します。
7. **適用**をクリックします。
8. 完了したら、OK をクリックします。



インディケータを右クリックし、ドロップダウンメニューから**削除**を選択することで、指標を削除したりメインチャート下に表示されるウィンドウを閉じることができます。

チャートからの取引

チャートウィンドウからも取引が可能です。このウィンドウで右クリックし、成行注文、逆指値、指値、および連続注文のためのメニューが表示されるドロップダウンメニューを出します。



成行注文 買 / 売

成行注文を発注します。

トレール逆指値注文

トレール逆指値注文が選択された状態で、注文ウィンドウが表示されます。

逆指値 / 指値

逆指値または指値が選択された状態で、注文ウィンドウが表示されます。

連続注文 買い/連続注文 売り

連続注文が選択された状態で、注文ウィンドウが表示されます。親注文を設定した後、連続注文として逆指値および指値を使用できます。



これらのドロップダウンメニューオプションを用いて注文ウィンドウを表示した場合、取引銘柄や注文種類を変更することはできません。

チャートから注文を出す

1. チャートウィンドウで右クリックし、希望のメニューオプションを選択します。
2. 必要な場合は、新規注文ウィンドウの口座番号ドロップダウンメニューから口座を選びます。
3. 必要な場合は、詳細設定をクリックし、有効期間を変更します。
4. 注文サイズを設定するために、ロット数を入力します。
5. 選択した注文種類に応じて、次のステップのいずれかを行います。
 - 指値または逆指値に対しては、価格を調整した後、売または買をクリックします。
 - 連続注文に対しては、それぞれの注文ごとに執行価格を調整します。必要であれば、トレールも設定します。それから、実行をクリックします。
6. ワンクリック注文を選択していない場合は、確認ウィンドウが表示されます。注文を確認したら、はいをクリックします。



ひとつの取引銘柄において複数のポジションを保有していて、そのポジションに対して反対売買の指値または逆指値を発注している場合、DealBook® 360 は自動的にもっとも古いポジションから決済に割り当てていきます。

報告書ウィンドウの表示

DealBook® 360 において、報告書はお客様の口座の活動記録です。報告書ウィンドウを用いて様々な報告書を作成することができます。DealBook® 360 メニューバーの上部にある報告書をクリックすると表示されます。

報告書

- コンバージョン履歴**
この報告書には、口座の通貨換算に使われたすべての換算レートが表示されます。換算レートは、自国の通貨で取引された金融商品から発生した損益を換算するために必要となる場合があります。たとえば、米ドルベースの口座でUSD/JPY通貨ペアを取引した場合に、日本円の損益が発生することがあります。詳しくは財務会計部門にお問い合わせください。
- スワップ詳細レポート**
この特殊な明細書を使うと、ユーザーは、指定された期間に金利として支払った受け取った金額を、通貨ペア別およびポジション期間別に表示する報告書を自分で作成できます。この報告書を週、月または年ごとに作成して、支払った受け取った金利の合計をリアルタイムで追跡および計算できます。
- セッション履歴レポート**
この報告書には、ユーザーが取引システムにログインした日時が一覧表示されます。また、取引セッション時に使用されたパソコンのIPアドレスも表示されます。
- ユーザーレポート**
この報告書は、ご注文に基づくすべてのやり取りを網羅します。ご注文の発注、処理、変更または取り消しにおける各々を、ここに詳述します。また本報告書は時間枠毎にカスタマイズすることができます。
- 取引履歴報告書**
この報告書は、当社の正味ベースの外国為替証拠金取引サービスと計算システムをご利用になっているトレーダー向けにデザインされたものです。これは、外国為替証拠金取引を報告する際の銀行間の標準となっています。銀行間の報告書は一部わかりにくいところがありますが、この報告書では特定の期間にわたる取引の追跡がしやすくなっています。詳しくは財務会計部門にお問い合わせください。
- 取引明細**
この報告書には、取引された商品と指定期間に基づいて、取引情報の内訳が表示されます。取引の内容は、古いものから新しいものへ時系列順に整理され、商品別にグループ化されます。
- 取引明細報告書 兼 取引残高報告書**
この報告書には、特定の金額に関する全取引の確定、決済、ポジションについての詳細情報が表示されます。また、概要セクションには、商品、口座残高、保証金状況別の純ポジションと、報告書に記載されている非基準通貨の価値計算に使用する現在の換算レートが詳しく掲載されます。
- 口座履歴報告書**
口座の全取引が記載された検索可能な報告書です。日付別に検索して、個々の取引や注文番号、ポジションの方向、損益のほか、特定の期間または指定された日付範囲の残高を表示できます。
- 簡易口座情報**
口座の全体像を示す報告書です。取引口座開設後の任意の期間について作成できます。この総合明細書には、エクイティの概要と利用状況が表示されます（現金残高、評価損益など）。

戻る 更新 開く 名前を付けて保存... 印刷 閉じる 準備完了



ポジションベースの口座を持っている場合、アクセスできる報告書は口座履歴報告書、簡易口座情報、取引明細報告書兼取引残高報告書、セッション履歴報告書、ユーザーレポートなどです。

希望する報告書を選択した後、報告書ウィンドウがレポート入力ページに変わります。ここでは報告書を生成したい日付と、その他の情報を設定します。

報告書

口座履歴報告書

条件を入力して下さい:

口座: 357507 (JPY) [trader id 366551]

スタート

本日

日から 日 17 月 8 年 2011

エンド

現在

日まで 日 17 月 8 年 2011

要請

戻る 更新 開く 名前を付けて保存... 印刷 閉じる 準備完了



長い期間や古い期間を指定すると、DealBook® 360 が報告書を生成する時間が長くなる場合があります。

報告書を生成するために**要請**をクリックすると、報告書ウィンドウ下部のメニューバーにある 6 つのボタンが有効になります。

戻る - 入力ページに戻ります。

更新 - 追加の取引がある場合は報告書が更新されます。

開く - 以前作成し、保存した報告書を報告書ウィンドウに表示します。

名前を付けて保存... - 報告書を指定のファイル位置に保存します。

印刷 - 生成された報告書をプリンターに送ります。

閉じる - レポートウィンドウを閉じます。

報告書の表示

1. **報告書**メニューをクリックします。
2. そのウィンドウから、希望する報告書にをクリックします。
3. スタート欄で開始日を設定します。開始日を指定する場合は、日付を選択します。
4. エンド欄で終了日を設定します。終了日を指定する場合は、日付を選択します。
5. **要請**をクリックします。



ポジションベースの口座に関する報告書を印刷する場合、DealBook® 360 が出力する取引報告書等にロールオーバー取引は含まれません。スワップポイント(または金融調整額)は毎日キャッシュフローの調整を通じて、お客様の口座に受払いされます。

より詳しくお知りになりたい方は

GFT では、お客様の取引の可能性を広げるために様々なサポートを行っています。www.gftforex.co.jp へアクセスするか、0120.933.438 にお電話いただき GFT の専門担当者とお話ください。さらに弊社のウェブサイトからはライブチャットへもアクセス可能です。

gftforex.co.jp / 0120-933-438

ライブチャットは年中無休でご利用いただけます。
電話番号



外国為替保証金取引や、CFD、デリバティブその他のレバレッジ取引には高いレベルのリスクが潜在しており、預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、全てのお客様に適している投資商品とは言えません。本内容は情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。© 2011 Global Futures & Forex, Ltd. 無断複写・複製・転載を禁ず。本内容は GFT 東京支店により、または同支店のために作成されたものです。同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして日本の金融庁に金融商品取引業者登録（関東財務局長（金商）第 268 号）をされ、経済産業省/農林水産省から商品先物取引業の許可を受けており、社団法人金融先物取引業協会及び日本商品先物取引協会の加盟業者です。<http://www.gftforex.co.jp/> CD04J.040.082511